

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 1000年後の地球のためにできること『緑の家』

グループの名称 感動の住まいづくり研究会

直近採択グループ番号 06-0307-0471

(グループ代表者)

代表者名	宮田 裕一	代表者印
代表者所属先	感動の住まいづくり研究会	
代表者所在地	愛知県半田市市の崎町2番地226	
代表者電話番号	0569-29-6290	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社シンホリ	
事務局担当者名	近藤 祐一	印
事務局郵便番号	475-0021	
事務局所在地	愛知県半田市市の崎町2番地226	
事務局電話番号	0569-29-6290	
事務局FAX	0569-29-6280	
事務局担当者E-mail	chiikigreen@shinhorico.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	1000年後の地球のためにできること『緑の家』
2. グループの名称(必須)	感動の住まいづくり研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0307-0471
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、滋賀県、福井県、長野県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	宮田 裕一
7. グループ代表者の所属先(必須)	感動の住まいづくり研究会
8. グループ代表者所在地(必須)	愛知県半田市市の崎町2番地226
9. グループ代表者電話番号(必須)	0569-29-6290
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社シンホリ
11. グループ事務局担当者名(必須)	近藤 祐一
12. グループ事務局郵便番号(必須)	475-0021
13. グループ事務局所在地(必須)	愛知県半田市市の崎町2番地226
14. グループ事務局電話番号(必須)	0569-29-6290
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0569-29-6280
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	chiikigreen@shinhorico.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	13	原木供給業者が海外である為、一部事業者の登録が出来ない。
II. 製材・集成材製造・合板製造	16	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	1	
V. 設計	4	
VI. 施工	33	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
	松、杉	愛知県	愛知県産材認証機構認証制度	1	国内	
	松、杉	岐阜県	ぎふ性能表示材推進制度	1	国内	
松、杉	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内		
松、杉	三重県	「三重の木」認証制度	1	国内		

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		26	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	26	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	9	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		12	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	12	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	6	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		37	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	37	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	12	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	6	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
			高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		8	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸
							上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸
						その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		6	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸
							上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		7	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		30	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	13	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		14	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	14	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	0棟	/				
				0㎡					
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0棟		0㎡			
E. 平成29年度の執行状況(必須)	基本ルールは先着申請順。ただし、同時の場合は、昨年度長期優良住宅供給数、認定低炭素住宅供給数、性能向上計画認定住宅供給数、ゼロ・エネルギー住宅供給数が0、もしくは少ない構成員を優先する。								
	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数		20	戸	交付申請戸数		17	戸	
	完了実績(竣工予定含む)戸数							17	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数		4	戸	交付申請戸数		2	戸	
	完了実績(竣工予定含む)戸数							2	戸
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
採択戸数		4	戸	交付申請戸数		1	戸		
完了実績(竣工予定含む)戸数							1	戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数		8	戸	交付申請戸数		5	戸		
完了実績(竣工予定含む)戸数							5	戸	
優良建築物型									
採択棟数		0	棟	交付申請戸数		0	棟		
完了実績(竣工予定含む)棟数							0	戸	
採択床面積		0	㎡	交付申請床面積		0	㎡		
完了実績(竣工予定含む)床面積							0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 1000年後の地球のためにできること『緑の家』	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、滋賀県、福井県、長野県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 感動の住まいづくり研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0307-0471	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	この地域は、近い将来必ず大地震が起きるので耐震性能を重視して、耐震等級2相当以上とする。(優良建築物は除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	災害に対応できる準備がされている家・・・非常用電源としての太陽光パネルを設置できるように重い屋根を想定した上で設計する。(優良建築物は除く)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	家が建つ場所ごとの年間の風を考慮し、快適でエコな、通風・創風を活かしたパッシブデザインの設計とする。(優良建築物は除く)	◎
④①～③の背景	①の背景として、東海地震が今後30年間で発生する確率は89%以上にもなります。そのため、地震に強い家づくりが必要なのです。 ②の背景として、地震が実際起きた場合に非常用電源として太陽光パネルの設置が出来るような強固な屋根が必要なのです。 ③の背景として、夏は高温多湿で非常に蒸し暑い。冬は乾燥した晴天の日が多く、伊吹おろしという乾燥した冷たい風が吹き、体感温度が北日本並みに一気に低下する日もあります。北西の季節風の影響があるため強い冬型の気圧配置になると雪雲が、岐阜県の関ヶ原付近から流入し愛知県西部などで局地的な大雪に見舞われることがあります。このことから、気候に合わせた家づくりとして、風向きや風の通り道を考慮した家づくりが必要なのです。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	この地域で近い将来必ず起きる大地震、災害に対応できる長期優良省エネ住宅。また、一軒、家が建つごとに、それに関わった人々が、『新築・既築住宅の耐震化』と、『災害時の備え』に対して意識が高まる活動を行う。家づくりに関わった人の『地縁、血縁、学縁、遊縁、社縁、知縁』に「長期住宅利用(緑の家の説明)と国産材利用の重要性を訴え、地域型住宅グリーン化事業の普及と大切な人への耐震化の啓蒙を行う。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 長寿型住宅、高度省エネ型住宅への取組に向けて、施工事業者共通の標準仕様書の作成する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内でのパッケージプランを作成し、仕様建材の統一化を図る。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工事業者共通の標準仕様書の作成をし統一化を図る。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: パッケージ化することで、感動の住まいづくり研究会が流通に対し価格交渉し、施工事業者に対し共通価格で仕入れを行う仕組みを構築する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様により地域材や省エネ機器のグループ専用発注書を作成し、誤発注や認証制度間違いを防止する。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: まだ、長寿型住宅、高度省エネ型住宅に積極的に取り組んでいない施工事業者に取り組みやすいように仕様の規格化(建材、住設すべてを含んだ住宅のパッケージ化)を行っていく。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: パッケージ住宅化を実施。標準工事費も含め施工事業者内で見積りの情報共有をしていく。チラシ作成。プラン集、コンセプトブックを制作して施工事業者の取り組みへの支援をする。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: フラット35の設計施工基準書に基づく施工を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 引き渡し前に施主と完了現場検査を行い、見積項目との現場照合を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: サンプル物件を用意し、共通仕様での積算書や見積書を作成し、適正価格の統一化を図る。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地域の住宅イベントに参加し、耐震化・省エネ化の啓蒙活動を行うと同時に地域型住宅グリーン化事業についても紹介していく。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 週休2日の確保等による不稼働日等を踏まえた適正な工期設定の推進する様に構成員企業に促す。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 技能・経験にふさわしい処遇(給与)が実現するよう、建設技能者の能力評価制度を策定を促す。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 社会保険へ加入の徹底を構成員企業に促す。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 本補助事業の影響で、建設工事従事者の労働時間が工期短縮等の原因で、長くないように、事前準備と無理のない計画策定を促す。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	家づくりに関わった人に『地縁、血縁、学縁、遊縁、社縁、知縁』に「長期省エネ住宅の利用(緑の家の説明)と国産材利用の重要性を説明するよう啓蒙活動を実施する。そして地域型住宅グリーン化の普及に努める。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 1000年後の地球のためにできること『縁の家』	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、滋賀県、福井県、長野県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 感動の住まいづくり研究会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0307-0471		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み			
※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】			
a		◎、○ 記入欄	
① 住宅 蓄積 履歴 情報 の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: NPO法人住宅長期保証支援センターの『登録住宅いえるて』を利用し、履歴情報を保管し、維持管理のサポートを行う。	○
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新築時の設計図書と共に、リフォーム時の資料や写真を保管し、建物価値を維持する。	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: NPO法人住宅長期保証支援センターの『登録住宅いえるて』にて住宅履歴確認が出来る。	○
② メ ン テ ナ ン ス 基 準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: NPO法人住宅長期保証支援センターの仕組みを利用して点検の計画を管理する。	○
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修工事や点検結果についても履歴情報に保存する。	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: NPO法人住宅長期保証支援センターの仕組み(千円、1、2、5、10、15、20、25、30、40、50、75年目に自動的に点検メンテナンスの案内が、お施主様、工務店に届く仕組み)に基づき、点検	○
③ 住 ま い の 管 理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会員工務店協同の建材メーカー様協賛でのリフォームイベントを年1回以上実施。お施主様へ気軽にメンテナンス・リフォーム相談できる場を提供。	◎
	③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年一回シンホリ大感謝祭内にて、一般来場者向けに、DIY体験として、木工体験教室を開催	◎
	③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォームイベント内で会員工務店協同のもとOB施主様への家の困りごと相談会などを実施す	◎
④	維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月一回の定期的開催する勉強会の中で、維持管理の為のルール決めや、やり方の統一を図るための勉強会をする。	◎
⑤	その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b			
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: NPO法人住宅長期保証支援センターの『登録住宅いえるて』にて住宅履歴管理を行う	○
	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月一回の勉強会内で、延長保証(20年)の検討をする。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		◎
長期優良住宅の考えに基づき、防蟻対策として5年に1度の定期検査を実施し、予防対策を行う。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a			
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン化の補助対象現場を利用して、未経験工務店対象の現場研修会を行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループの供給する地域型住宅は、性能評価機関の適合証又はBELS認証を取得する。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 適合証又はBELS認証を交付申請等のタイミングで事務局が確認する。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの供給する住宅を5年後までにとする。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ義務化に対し、外皮・エネルギー計算をマスターするべく講習会を企画する。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員は確認申請だけでなく、適合証取得申請も併せて行う体制とする。
b			
①-1	省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会の日程・開催場所などの情報を未受講の施工業者へ配信し受講を促す。	◎
c			
①	新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: パッシブデザイン住宅への取り組みとして、住宅の省エネルギー化についての勉強会を感動の住まいづくり研究会の勉強会にて講師を招き知識を深める。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ハウスオブザイヤー・イン・エナジーを受賞した、パッシブデザイン住宅のモデルハウスを会員施工店様に使用してもらい、長寿命型住宅、高度省エネ型住宅を積極的に導入して行ってもらえるように働きかけ、省エネ住宅の技術向上と集客力強化に活用出来る様にして行く。中部電力、河村電器、NTTと協力し、新型のHEMSをモデルハウスに設置し、啓蒙活動をする。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		◎
今後の省エネ住宅の推進を広めていくために、中部電力等電力会社と協力し、地域のコミュニティやイベントなどに共同で出展し、太陽光発電、蓄電池、オール電化などの知識を深め、啓蒙活動を進めて行く。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

【地域の人のつながりを生む家づくり】お施主様に『使用した地域材で作った箸』をプレゼントし、家づくりに関わった人の『地縁、血縁、学縁、遊縁、社縁、知縁』に「長期住宅利用（縁の家の説明）と国産材利用の重要性、地域材のアピールチラシ」と「現在、会で行なっている【命が大切プロジェクト】耐震化啓蒙カード、チラシ」を30セット配布することで地域型住宅の普及と大切な人への耐震化の啓蒙を行う。

《ロコミを誘発させる啓蒙活動》

国産材の利用促進を促すチラシと共に、住まいの耐震化をすすめるカードやチラシを施主様の「地縁・血縁・学縁・遊縁・社縁・知縁」の6つの「縁」に配布。

地域材利用促進チラシ+マイ箸+耐震診断啓蒙カード・チラシ+「縁の家」チラシ



その他
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。

○

カ. その他

【平成30年度対応方針】

◎、○
記入欄

東日本大震災の復興に資する取組

被災を受けた東日本地域の国産合板メーカーの資材を率先的に使用する様に働きかけていく。

◎

平成28年熊本地震の復興に資する取組

被災を受けた熊本地域の国産木材の資材を率先的に使用する様に働きかけていく。

◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 1000年後の地球のためにできること『緑の家』	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、滋賀県、福井県、長野県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 感動の住まいづくり研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0307-0471	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴</p> <p>※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統一の特徴 愛知県産材認証機構認証制度・ぎふ性能表示材推進制度・岐阜証明材推進制度・「三重の木」認証制度・合法木材認証制度(国内・国外)の木材を使用する。 耐震等級2相当以上とする。 太陽光パネルを設置できるように重い屋根を想定した上で設計する。 外皮性能の向上を考えて、樹脂サッシや木製サッシなどLow-Eガラスによる開口部の熱損失の強化をして、躯体の断熱性能を向上させる。 これにより、電気設備機器などにあまり頼らない様にする事で、将来的に環境への負荷の低減につながる。 また、震災時の停電の時でも快適に過ごす事が出来る様になる。(パンプ型の住宅) ・認定低炭素住宅: 省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量を約10%以上削減とする。 UA値 0.6W / (㎡・K) 以下とする。冷房時の平均日射熱取得率 η A値は、各地域の認定基準値とする。 ・ゼロ・エネルギー住宅: Ro値を約21%以上削減とした上で、創エネ機器の設置をして、R値を104%以上とする。 UA値 0.6W / (㎡・K) 以下とする。冷房時の平均日射熱取得率 η A値は、各地域の認定基準値とする。 ・優良建築物: 住宅と同様に省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量を約10%以上削減とする。 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。